

最後に私から、これから歩む人生の中で必ずに実行してほしいことを一つだけお伝えします。それは、「夢をもち 追い続けよう!」です。荒川中学校の教育目標を観てください。「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」同じ意味です。

夢とは、目標やめあて、希望、願い、なりたい姿、実現させたいことなどのことです。夢をもつことが、なぜ大切かと言えば、夢をもった瞬間に、人の潜在意識はそこに向けられていき、その目標が実現するように、無意識的にも、意識的にも努力し始めるからです。そして、夢が実現していくからです。

皆さんの知っている有名人、スケートの浅田真央選手は、小二のとき、「絶対にオリンピック選手になるから」と書いています。スケートで先日フリー演技で世界最高得点を出した羽生結弦選手は、小六のときのインタビューで、「オリンピック行く気、満々になってきました!」と答えています。野球のイチロー選手は、六年生のとき、「ぼくの夢は一流のプロ野球選手になることです」「ドラフト入団で契約金は一億円以上が目標です」と文集に綴っています。サッカーの本田圭佑選手も「ぼくは大人になったら、世界一のサッカー選手になりたい」と言うよりなる。Wカップで有名になって、ぼくは外国から呼ばれてヨーロッパのセリエ A に入団します。そしてレギュラーになって背番号10番で活躍します。一年間の給料は四十億円はほしいです」ということを卒業文集に綴っています。この夢はおおかた実現されています。

夢は諦めたらそこで終わりです。夢の実現は、努力によって可能性がぐんぐん高まります。皆さんの可能性は無限です。いくつになっても夢をもち、追い続ける人であって欲しいと願います。

新入生の皆さんは、中学生になったら、これを頑張りたい、こうなりたいなど、目標や夢を掲げたと思います。ぜひ、実現できるよう、諦めずに取り組んでください。一年後は、先輩と呼ばれる立場になります。新たな目標やなりたい自分の姿をしっかりと描いて二年生を迎えてください。また、中学校を卒業するとき、高校を卒業するとき、二十歳になるときなど自分の成長に合わせて「なりたい自分」の姿を描くようにしてください。

結びに、保護者の皆様をお願い申し上げます。子どもたちを取り巻く環境は日々変化し、学校だけでは限界も出てまいります。また、中学生の時期は、心身ともに大きく成長します。思春期は、子育てにおいてとても大事な時期です。子どもの自立をしっかりと育み、自立させてやる親であってほしいと思います。

今日から三年間、荒川中学校にご支援とご協力を賜りますことをお願いして式辞といたします。



平成29年度の新入生全員と1学年部職員+校長です。

☆転入職員からの挨拶 (イラストは、本人の中学時代の部活動です)



○大滝 貴好 (おおたき たかよし) 教諭 (国語) 胎内市立中条中学校より

胎内市立中条中学校より転入して参りました。村上市出身ですが、この度初めての市内勤務となります。保護者の皆様、地域の皆様に教えていただきながらの出発になると思います。どうかよろしくお願いいたします。

4月3日の朝、職員室の机に「ようこそ荒川中学校へ」というメッセージがありました。丁寧な字で書かれてあり、期待してくれているのが伝わりました。うれしさとやる気が湧いてきました。これからはそんな“小さな思いやり”を大切に受け止め、私からも伝えていきたいと思ひます。

教科担当は国語です。授業だけでなく普段の会話でも、表現力豊かな環境づくりに力を入れたいと思ひます。“自分の言葉”をもつことが、よりよい人間関係や、いじめを見逃さない風土にもつながると考えています。

“なんでも話せる、声のかけやすいせんせー”を目指します。どんなに小さなことでも教えてください。荒川中学校を盛り上げる、応援団になりたいと思ひています。



○増田 有貴 (ますだ ゆき) 教諭 (英語) 佐渡市立佐和田中学校より

初めまして。佐渡市立佐和田中学校から参りました。荒川中学校は胎内市の実家から車で20分。慣れ親しんだこの地で勤務できることに喜びを感じています。

私の担当教科は英語ですが、モンゴル語も得意です。趣味はランニングと一人旅。大自然の中を、景色を楽しみながら走るのも好きですし、見知らぬ土地を探索しながら走るのも好きです。荒川中学校は海、山、川が近くて良いですね。おすすめのランニングコースがあったら是非教えてください。

授業では、「英語習得がゴール」ではなく、「英語を使って何ができるようになるか」を大切にしたいと思ひます。授業を通して、言語や歴史、異文化、世界との繋がりなどを学びながら、多角的に物事を考え、多様な考えを受容すること、自分の想いや考えを、自信をもって発信できるようになることを目標とします。まずは、生徒の皆さんの英語学習の意欲を高められるよう、精一杯頑張ります。よろしくお願ひいたします。



○松井 正伸 (まつい まさのぶ) 教諭 (数学) 村上市立朝日中学校より

朝日中学校より転入して参りました。出身は村上市(旧神林村)、教科は数学でフレンズ学級の担任で、1学年部の副任になります。部活は野球部になりました。新任式で話したのですが、「自宅から近い」「部活動で荒川中学校の生徒が頑張っている姿を見ていた」「勉強も頑張る生徒だと聞いていた」ことがあり、荒川中学校に転勤が決まったときには、安心感や楽しみな気持ちがありました。まだ何日かしか生徒とは過ごしていませんが、落ち着いていて、生徒たちも自分の力をのびのびと発揮できるような雰囲気があるという印象を受けています。

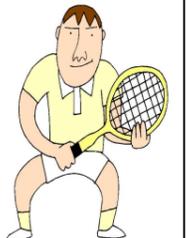
私も自分の力を精一杯発揮して、生徒と一緒に頑張りたいと思ひます。よろしくお願ひします。



○田邊 武志 (たなべ たけし) 教諭 (理科) 新採用

この度、新採用として赴任させて頂きました。田邊武志です。今春まで、ここ3年間は高校にて勤務していました。初出勤の日、皆さんの元気で清々しい挨拶に私が大変勇気付けられ、教務室の机の上に「ようこそ荒川中学校へ」という温かいメッセージが置かれていたり、新入生を迎える教室がきれいに飾り付けされ、新しい教科書の上に新入学をお祝いする心温まるカードが置かれていたり、皆さんの優しさ溢れる姿の連続に、赴任してわずか1週間ながら、ただただ感激と驚嘆の連続でした。そんな元気一杯で心優しい皆さんと一緒に、授業・部活動・生徒会活動等を通して日々成長していけることに、期待に胸を膨らませているところです。

荒川中学校が今年度目指す学校像である「笑顔とハートのある学校」づくりの率先垂範として、私も元気一杯に過ごしていくことを皆さんに約束します。何か困ったこと、相談したいことがあったらいつでも遠慮なく話しかけてください。さあ、一緒に頑張りましょう。



○神村 圭佑 (かみむら けいすけ) 非常勤講師 (理科) 胎内市立築地中学校より

荒川中学校の皆さん、はじめまして。胎内市立築地中学校から赴任してきました神村圭佑と申します。家は聖籠町で、荒川中学校から車で45分ほどの距離にあります。

担当教科は理科になります。私が理科を好きになったきっかけは、胎内市で毎年行なわれる胎内星祭りで見えた満天の星空でした。そんな自然の実物に触れた瞬間の感動と一緒に味わえたらと考えています。理科は「科学」を学ぶ教科です。科学が明らかにしてきた自然を学ぶと同時に、科学の考え方を学ぶ教科でもあります。それができる、「科学する」授業を目指しています。

最近「楽しむ」ということについて考えています。何事も「楽しむ」ためには、自分だけ楽しむのではなく、他の人も楽しめるように、考えたり、我慢したり、楽しませたりといった努力が必要になってきます。「楽しむ」には努力が必要なのだと思ひます。これからの学校での時間を一緒に、「頑張って」楽しんでいきましょう。



☆平成29年度 荒川中学校教職員の紹介

学年	職名	氏名	主な校務分掌	教科	部活動	備考
4学年部	校長	長谷川春義	校長事務			
	教頭	高橋 学	教頭事務	数 学		
	教諭	石塚 秀明	教務主任	技術・理科		
	養護教諭	井上 愛美	保健主事		文化部 (副)	
	主任	高橋 桂	事務総括			
	技能員	石黒 仁士				
	A L T	ベソソ・ニコラ				
	スクールカウンセラー	横山 真歩				
3学年部	教諭	吉井眞喜子	3学年主任	家 庭	技術家庭	
	教諭	石田ちづる	1組担任	社 会	バドミントン・剣道 (副顧問)	
	教諭	田中 修平	2組担任	英 語	サッカー	
	教諭	柴田 淳	3組担任	数 学	ソフトテニス	
	教諭	兼田 朋廣	スマイル	理 科	卓球	
	教諭	小間屋直子	進路指導	国 語	美術	
2学年部	非常勤講師	石田 裕司	3年副任	英 語		
	教諭	近 忠浩	2学年主任	美 術	卓球	
	教諭	河崎 昭文	1組担任	保健体育	バスケットボール	
	教諭	増田 有貴	2組担任	英 語	駅伝 (陸上・サッカー副顧問)	
	教諭	大滝 貴好	3組担任	国 語	バレーボール	
	教諭	甲斐 喜子	適応教室	音 楽	吹奏楽	
1学年部	非常勤講師	神村 圭佑	2年副任	理 科		
	介助員	佐藤 孝子	介助			
	教諭	小池 哲也	1学年主任	保健体育	陸上	
	教諭	井上 定浩	1組担任	英 語	野球	
	教諭	田邊 武志	2組担任	理 科	バドミントン	
	教諭	曾川 有紀	3組担任	社 会	ソフトテニス	
4学年部	教諭	村上 清人	1年副任	数 学	バレーボール・バスケットボール (副顧問)	
	教諭	松井 正伸	フレンズ	数 学	野球	
	介助員	木村 敦子	介助			
教諭	高橋真理子	新採用指導教員	数 学		村上第一中より	

☆平成29年度 主な行事予定

月	日	曜	行事内容	月	日	曜	行事内容	月	日	曜	行事内容	
4	6	木	新任式・1学期始業式	7	22	土	県総合体育大会①	12	1	金	生徒会立会演説会・選挙	
	7	金	入学式		23	日	県総合体育大会②		7	木	2年生進路説明会	
	15	土	さくらつつみウォーク		24	月	1学期終業式		11	月	期末保護者会 (～14日)	
	17	月	15日の振替休日		28	金	1年生自然体験		22	金	2学期終業式	
	18	火	全国学力テスト		1	火	北信越大会 (～4日)		9	火	3学期始業式	
5	29	土	登校日 (クローン作職、PTA総会)	8	17	木	全国大会 (～25日)	1	26	金	新入生入学説明会	
	1	月	29日の振替休日		29	火	2学期始業式		31	水	3年生進学保護者会 (～2/2)	
	14	日	登校日 (授業参観)		9	9	土		体育祭 (雨天変道あり)	2	金	生徒総会
	15	月	14日の振替休日			11	月		9日の振替休日 (雨天変道あり)	5	月	第4回定期テスト①
	26	金	都市陸上大会 (胎内市陸上競技場)			20	水		都市駅伝大会	6	火	第4回定期テスト①
31	水	都市各種大会①	28	木		第2回定期テスト①	13	火	特色化選抜面接			
1	木	都市各種大会②	29	金		第2回定期テスト②	15	木	特色化選抜内定			
6	15	木	第1回定期テスト①	10	29	金	第2回定期テスト②	2	19	月	生徒朝会 (三送会)	
	16	金	第1回定期テスト②		11	水	下越地区駅伝大会		7	水	公立高校一般入試	
	29	木	下越地区陸上大会①		30	土	青雲祭		8	木	〃 (独自検査)	
	30	金	下越地区陸上大会②		28	日	28日の振替休日		9	金	第71回卒業証書授与式	
7	4	火	下越地区各種大会①	11	1	水	生徒会選挙告示	3	12	月	2年生修学旅行 (東京方面) ～14日	
	5	水	下越地区各種大会②		2	木	県駅伝大会 (長岡)		13	火	公立一般合格発表	
	11	火	期末保護者会 (～14日)		16	木	第3回定期テスト①		23	金	3学期終業式	
			2年生職場体験 (～13日)		17	金	第3回定期テスト②		26	月	離任式	
					22	水	人権教育・同和教育公開授業					



荒川中
だより



青い雲

村上市立荒川中学校
平成29年度 第1号
平成29年4月12日発行
Tel. 0254-62-3251



教育目標 : 「めあてをもち 自分で考え ねばり強くやり抜こう」
目指す学校像 : 「笑顔とハートのある学校」 (ハート=熱いハート、温かいハート、柔らかいハート)

☆平成29年度がスタート 新入生73名が入学しました。

陽春の候、保護者並びに地域の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。皆様のおかげをもちまして、平成28年度を無事終了することができました。6日(木)に新任式・始業式を行い、平成29年度を順調にスタートさせることができました。翌日の7日(金)の午後から入学式を行いました。73名全員参加でした。元気が良く、前向きな姿勢が好評でした。

今後も職員一同、「荒中生徒の幸せのために」を合言葉に教育活動を展開し、生徒の幸せづくりのために精一杯がんばりたいと思います。今年度も皆様の変わらぬご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年度 入学式 式辞

飯豊の山々の雪解け水が荒川に注ぎ、悠々とした流れをつくると共に、春の香りを運んでくれています。(中略)

保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。本日より大切なお子様をお預かりいたします。一人一人の生徒、必ずきらりと光る何かをもちえています。その何かを引き出し、伸ばせるよう、そして世の中のために役に立つ人に成長してくれるよう、私ども職員が一丸となって心を込めて指導に当たる所存でありますのでよろしく願いいたします。

ただいま呼名された七十三名の新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心からお喜び申し上げます。教職員、在校生一同、皆さんの入学を心から歓迎いたします。

さて、新入生の皆さん、五日に行われた事前指導では、皆さんの元気な挨拶や前向きな明るい態度などで多くの職員が感激し、素晴らしい一年生になることを予感しているようです。また、皆さんの式に参加している姿勢、聞く姿勢を拝見し、「今日から中学生として頑張ろう」という意気込みが伝わってきました。

当校で学ぶことになった皆さんに荒川中の良き伝統を紹介します。

良き伝統の一つ目は、「挨拶」です。「荒川中の生徒は挨拶がとても良い」と来校者や地域の方々からお誉めの言葉をいただくことが多いです。挨拶は、相手や自分を受け入れてくれるかどうかの合図です。だから、挨拶がないと仲良くなれません。新入生の皆さんも、笑顔で相手の目を見て、心を込めて「おはようございます」「こんにちは」などその場に合った挨拶ができるようになってください。

良き伝統の二つ目は、「学年が上がる毎に成長すること」です。何事にも生徒一人一人がめあてをもち、周りの人達のことを考え、自分のなすべき事をしっかりと自覚して一生懸命取り組むことから、心も体も一回りも二回りも大きく見えるほどの成長を見せてくれます。一生懸命に取り組んでいくと、今まで見えなかったものや今まで感じたことがなかった思いなど、新しい発見をします。学校という所は、皆さんが成長するのに必要な材料が一杯詰まっている所です。どうかそれを見逃さないでください。先輩たちは、それを見逃さずにいるから、賢く立派に成長しているのです。ぜひ、毎日の学校生活からその材料を見つけ、自分のものにしてください。

良き伝統の三つ目、それは「生徒自身で創る行事」です。この良き伝統は、まだ新しく生まれたばかりのものです。体育祭や青雲祭など、今までの行事は、先生方が手伝いながら運営をしてきましたが、2・3年前から、生徒を前面に出した取組が行われるようになりました。先生方は、うまく運営できるようにアドバイスしたり、目指す方向を軌道修正したりなど、支援することを中心に行い、当日は、生徒だけの手で運営されるようになりました。このような取組で、リーダーとして活躍することに喜びを見いだしたり、物事を自分たちで創りあげる喜びを実感することで、自主性や積極性も向上してきました。

このような取組は、学校生活をより楽しいものにできると共に、やり遂げたことで自分の自信につながることや、いろいろなことにチャレンジする前向きな姿勢を育てることができます。ぜひ、皆さんは、先輩の背中を観ながら、いろいろなことにチャレンジし、未知なる自分との出会いと、自分の可能性を見だし、伸ばして欲しいと思います。

以上、荒川中の良き伝統を紹介しました。皆さんもこの良き伝統を引き継ぐ一員になるのはもちろんのこと、新たな良き伝統を作りあげて欲しいという願いもあります。

